



小田原市立芦子小学校学校だより

あしこだより

令和7年度 10月号
発行者:石井 美佐子



進んで考え学ぼうとする子・仲間と関わる子・たくましくチャレンジする子

令和7年度の前期が終わりました。これまでに、たくさんの元気を子ども達からもらいました。アレルギーのためか、季節の変わり目（もしくは寒暖差で）に咳が出ることが多く、先日も学習の様子を参観していた際に咳込んでしまい、教室をでました。その日の午後、その教室にいたある子が「先生、咳をしていましたけど大丈夫ですか？」と声をかけてくれました。その思いやりがとても嬉しく、きっとご家庭でも互いを気遣い思いやりながら生活されているのだろうなと思いました。保護者の皆様や芦子地区地域の皆様には、いつも温かく見守っていただき、大変感謝しています。後期も引き続き、応援をいただければありがたく存じます。

令和7年度の後期がスタート！

それぞれのめあてに向かって一歩ずつ取り組んでいきます。



学校HPでもお知らせしましたが、10月14日に後期の始業式を行いました。私からは今年度の児童会の目標「笑顔いっぱい、幸せで楽しい芦子小」を確認した後、「幸せ」について話しました。

南米ウルグアイの元大統領で「世界一貧しい大統領」として世界中に知られることになったホセ・ムヒカさんの言葉を紹介しました。ムヒカさんは、これからの時代を生きる子ども達に、大切なことを伝えてくれています。

「我々は発展するために生まれてきたものではありません。

幸せになるために生まれてきたのです。」

「貧乏な人とは、少ししかものを持っていないひとではなく、

無限の欲があり、いくらあっても満足しないことなのです。」

子ども達に、「みなさんは今、幸せですか？」と問いました。子ども達の中から「はい」という声が聞こえてきました。「『幸せ』だと感じた時、自分はもちろん、周りの人も幸せであるかどうかを考えてください。それは簡単ではないかもしれませんが、自分の幸せと相手の幸せは同じではないかもしれません。国が違ったらどうでしょう？お年寄りと同じように感じるでしょうか？」と伝えました。そして「後期が終わったときに、皆さんは「幸せ」であったかどうか、クラスの友達が「幸せ」だったと思えたかどうか、教えてほしいです。」と終わりました。

そして、2・4・6年生の代表の児童が、前期に頑張ったことと後期に頑張りたいことを発表しました。3人ともとても立派に発表しました。ここに内容を紹介させていただき、この半年の子ども達の頑張りを皆様にお伝えしたいと思います。（下線は石井が目した箇所です）



校歌を歌う子ども達です

私は4月から算数をとてものがんばってきました。筆算やたし算、ひき算、それ以外にもいろいろがんばりました。一番頑張ったのは、たし算の問題です。50 + 26のように、二桁のたし算が難しかったけれども、計算の仕方を覚えたから、今、簡単に解けるようになりました。

後期に頑張りたいことはかけ算です。家でどんどん復習できるようにしたいです。どうやるのかという、かけ算表を自分の机やお風呂場などいろいろな場所にはります。このかけ算表を見て覚えて、学校のテストで100点をとれるようにしたいです。漢字も頑張りたいです。いっぱい書いて覚えて、きれいに書けるようにしたいです。（2年）

私は算数が苦手です。図工が好きなので、時間割の算数が、全部図工に変わらないかとずっと思っています。前期はこれまで、かけ算やわり算の計算問題、角度や平行・垂直の図形の問題を学習しましたが、中でもかけ算とわり算の筆算が苦手なので、いつも困ったら友達に教えてもらったり、優しい友達が手伝ってくれたりしました。ですが、あまり自分で「考えていないな」と思い、友達に頼ってばかりではだめだと思いました。だから、後期は毎回先生の話をよく聞いて学習したり、わからないところがあったら質問したりしていきたいと思います。また、時間があれば4年生までの復習を自主学習などでしていきたいです。前期よりも1問でも多く、自分で考えて答えを出せるようになることが私の目標です。（4年）

6年生になってからは、最高学年として、自覚をもちながら、毎日の学校生活を送ってきました。初めは6年生らしくしなきゃと言う気持ちばかりで少し緊張していましたが、今ではいろいろなことに自信をもって取り組めるようになりました。

学習面では、授業の発表やノートのとめ方を意識してがんばりました。特に社会科では歴史の学習が始まり、大昔の人々のくらしや日本の国づくりについて学びました。今まで知らなかったことがたくさんあって、毎回の授業が楽しみでした。また、国語の作文、算数の応用問題なども、少し難しいと感じることもありましたが、あきらめず取り組む力がついてきたと思います。

生活面では、掃除や委員会、1年生のお手伝いなど、自分たちが学校を支える立場であることを実感しました。特に委員会活動では、自分の役目をしっかり果たすことで学校がより良くなることを感じることができました。

例えば、事務局委員会で代表委員会の司会をする時、みんなが話しやすい雰囲気をつくることを工夫しました。まず、明るく元気な挨拶をしました。また、この案で決定してよいかをクラスごとに質問して話し合いが深まるようにしました。時間が足りなくならないよう、スピーディにすることも心がけました。



前期を通じて、自分の考えをしっかりと持ち、相手に伝える力がついてきました。授業やグループ活動では、仲間と協力しながら意見を出し合い、積極的に学ぶことができました。また、最高学年としての自覚も芽生え、学校生活全体に責任をもって取り組むことができました。後期では、もっと高い目標をもって、6年生としてさらによいお手本になるようにがんばりたいです。そして、小学校生活の最後まで、後悔のないように一日一日を大切に過ごしていきたいです。（6年）

6年生は卒業に向けての取組も始まっていますが、私達は、子ども達が自分のめあてに向かって取り組めるようサポートしていきます。今後も温かく見守っていただければ幸いです。

お知らせ

＊7月30日に小田原市に津波警報が出されました。授業中であれば、長時間、児童を学校に留め置くことが想定されます。そこで学校では、児童一人当たり一食分の食料と水を備蓄しておきたいと考えています。既に市内の学校でもPTA会費等で備えをしている学校もある中で、対策が遅くなりご心配をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。なお、食料については、アルファ化米を使ったご飯（ドライカレーかチキンピラフを予定）を購入する予定です。ペットボトル入りの水と併せて長期間保存できるものを購入し、何事もないければ、卒業時に各児童に持たせる予定です。代金は教材費とともに徴収させていただきますので、ご承知おきくださるようお願いします。